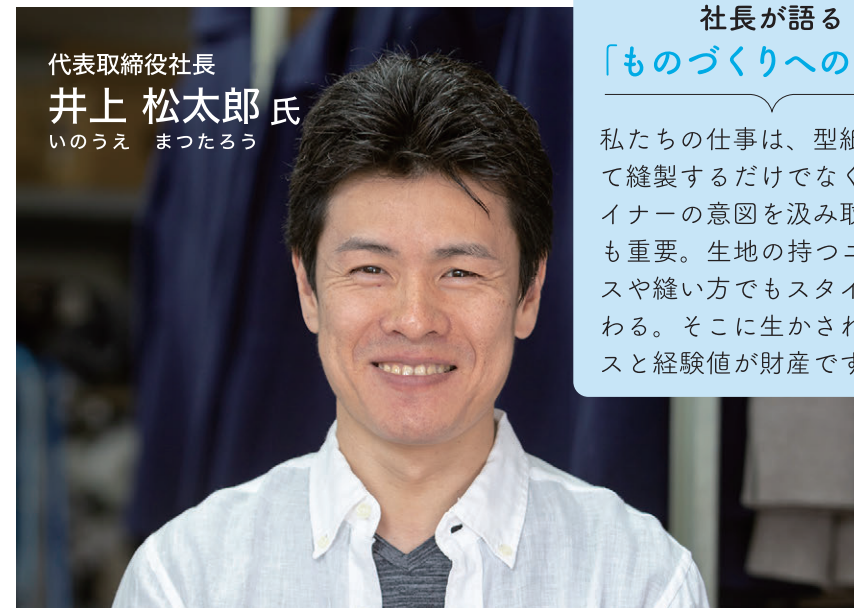




代表取締役社長
井上 松太郎 氏
いのうえ まつたろう

社長が語る
「ものづくりへの想い」

私たちの仕事は、型紙に添って縫製するだけでなく、デザイナーの意図を汲み取ることも重要。生地を持つニュアンスや縫い方でもスタイルが変わる。そこに生かされるセンスと経験値が財産です。

つねに一步先の展開を考えること
革新的なものづくりにチャレンジ

経験値と技術を継承するために、実務経験が求められる技能検定の取得を通して、より知識を深める環境も積極的にサポートしています。「スキルを高めることでモチベーションの向上につながれば」と期待を寄せる井上社長。自ら進んで考えるチカラが、仕事のやりがいになると信じています。

名立たる高級婦人服のアパレルメーカーから委託を受け、縫製加工・仕上げ・納品までワンストップの生産体制を築くアーバン大分。その繊細な技術と丁寧な仕立ては国内はもちろん、海外に向けたブランドからも厚い信頼と注目を集め、さらなる市場獲得を目指しています。

縫製から納品までワンストップ
繊細な技術が織りなす高級婦人服

monozukuri-1

urban oita

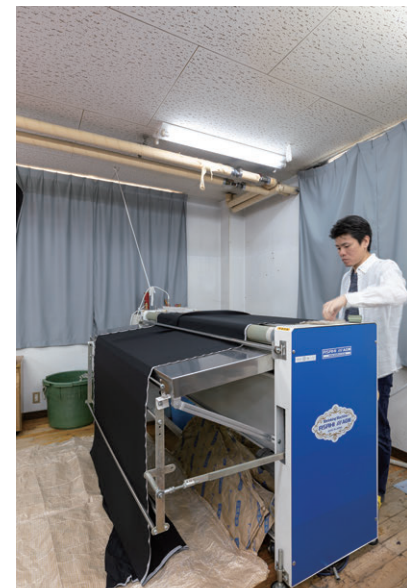
1

株式会社 アーバン大分

時代を彩る高級婦人服
高品質・短納期化を目指す

ブランドの期待に応え、最新モードを華やかに彩る高級婦人服。

多品種少量生産に対応する最新CAMと縮絨機を導入し、より完成度の高い安定した品質とスピード化を図る。



裁断の前に行われる縮絨機の作業。スチームで原反の伸びや縮みを調整し、型紙をあわせて縫製する際のズレや誤差を防ぐ。



型紙の裁断に導入された最新CAM。コントローラーで位置を調整し、型紙をあわせる。型紙のデータ化とワンオペレーターによる作業効率も向上した。



最新設備を導入するだけでなくとどまらず、さらに一步先の展開を考えること。「その広がりこそがものづくりの面白さなんです」と井上社長。まずは服が好きであること。つねに好奇心を持って新しいスタイルに反応し、革新的なものづくりにチャレンジする。その信念が、女性を華やかに彩る最先端のモードを届けています。

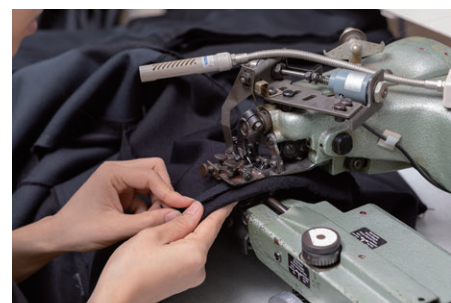
海外工場が強みとする大量生産に対して、多品種少量生産の婦人服において課題となっていたのは、短いサイクルにも対応できる細やかな納期。そのスピード化を可能にしたのが、新しく導入された最新CAMと縮絨機。生地本来の伸びや縮みをフラットに調整するCAMは、型紙を正確に裁断するCAM

高精度なCAMと縮絨機を導入
安定した製品の完成度を高める

Mとあわせて欠かせない設備として活躍。収縮率の解消と裁断の精密度を上げることができ、作業の効率化と安定した製品の完成度を高めています。

縫製の技術と経験値を継承する
自ら考えるチカラをサポート

また同社が誇りとするものは、従業員一人ひとりが持つ技術の高さ。その



1着のパーツごとに細かく工程が分かれ、一つひとつの縫製に高い技術が注がれる。熟練工を多く有し、若い世代へも技術が受け継がれている。



monozukuri
1

繊維工場

株式会社

アーバン大分

〒877-1231

大分県日田市財津町 2641-1

TEL 0973-23-2600



生地にプロジェクターで型紙を投影し、コントローラーで位置を合わせるCAM(自動裁断機)。正確なパターン配置と、誤差なく均一に裁断できることが大きなメリットに。手作業による裁断から大幅な時間の短縮を図り、デザインやサイズも様々な婦人服の多品種少量生産を可能にしている。

導入のポイント
正確に型紙を裁断する
CAMで工程をスムーズに